



2003年度「メセナ活動実態調査」結果

～ 利益還元から社会投資としてのメセナへ～

社団法人企業メセナ協議会(東京都千代田区、会長:福原義春)は、2003年4月に全上場企業(含店頭公開)、非上場売上高上位300社、協議会会員企業等計4,109社を対象に、2002年度のメセナ活動について調査しました。(郵送によるアンケート。有効回答数は619社、回答率は15.1%)

2002年度(2002年4月1日～2003年3月31日)にメセナ活動を行った企業は、調査に回答した619社のうち392社で、その活動総件数は2,560件、1社当たりの平均活動件数は6.5件でした。調査の結果を見ると、各項目において大幅な変動はなく、厳しい経済環境の中で、地域社会の発展や企業価値の向上をめざして運営体制を整え、着実にメセナ活動を継続していることがわかりました。

本年度は、企業の関心が高い「評価」を時事設問のテーマとしました。メセナ実施企業に評価の取り組み状況を聞いたところ、約7割が何らかの評価を行っているという回答。評価するのは、「担当部署」が204社(61.1%)、「担当役員や経営トップ」が161社(48.2%)でした。また、評価基準としては、「プログラムの社会的意義」が208社(74.3%)、「プログラムの妥当性」が122社(43.6%)という結果でした。

さらに具体的な内容分析のため、評価システムを持つ企業数社に調査したところ、評価の目的として「プログラムの改善」「プログラムやパートナーの選定」「目標達成度の確認」「活動の客観的根拠を得る」「説明責任」等がありました。評価者には、担当者のほか、活動のパートナーやサービスの受け手(来場者・参加者)があり、評価方法として、評価基準・項目ごとのポイント制や段階評価、アンケート等を採用しています。また、他の社会貢献活動を同じシステムでメセナを評価する事が多い中、アートにおける多様な価値観を尊重した、メセナ独自の評価項目を設けている企業がありました。

評価の取り組みが進んだ背景には、メセナ活動を、一過性の利益還元から恒常的な「社会投資」「企業の社会的責任(CSR)」と位置付ける企業が増えてきたことがあります。投資だからこそ、社会的・企業的価値向上といったリターンの測定や目標と実績のすり合わせ、客観性担保のための評価が必要です。メセナ活動の評価は、戦略的メセナ運営(メセナマネジメント)の一要素といえます。

【主な調査結果】

[]は「メセナレポート2003」の掲載ページと図表番号

2002年度(調査対象期間)のメセナ活動の実施状況 [P.1 図1、2、3]

メセナ活動を「行った」企業は392社(前年度比+17社)、「行わなかった」企業は227社(±0社)。

メセナ活動実施企業の活動総件数は2,560件(+201件)、1社当たりのメセナ活動件数は6.5件(+0.2件)。

メセナ活動の芸術分野(複数回答) [P.2 図4]

メセナ実施企業392社のうち、「音楽」分野での活動を実施している企業は、285社(72.7%)、「美術」は211社(53.8%)、「演劇」は101社(25.8%)。

メセナ活動の方法(複数回答) [P.2 図5]

活動総件数2,560件のうち、「企画・運営(主催)」のプログラムは845件(33.0%)、他団体への「資金援助(協賛)」は1,468件(57.3%)。他団体への資金以外の支援では、「マンパワーの提供」182件(7.1%)、「製品・サービスの提供」171件(6.7%)、「場所の提供」148件(5.8%)、「技術・ノウハウの提供」97件(3.8%)。

メセナ活動費総額 [P.3 図 7、8]

- 活動費総額について回答した 320 社の総額合計は、212 億 6,398 万円。1 社平均は 6,645 万円。<表 1>
- より精度の高い連続回答企業の継続データで活動費の推移をみると、比較可能な 4 年連続活動費回答企業 116 社の活動費総額合計は、118 億 1,085 万円であった。1 社当たりの平均は、1 億 182 万円となり、1 億円台を推移。<表 2>
- 活動費総額について回答した企業 320 社の活動費総額の分布では、1,000 万円以下の企業が約半数 (51.0%)。中央値は 915 万円。

[メセナ活動費総額の推移]

<表 1> 単純集計

	【単位:万円】			
	2002 年度 (N = 320)	2001 (N = 283)	2000 (N = 266)	1999 (N = 195)
活動費総額合計	2,126,398	1,758,029	1,853,344	1,854,864
1 社平均	6,645	6,212	6,967	9,512

<表 2> 4 年連続回答企業 (N=116)

	2002 年度	2001	2000	1999
活動費総額合計	1,181,085	1,240,323	1,244,842	1,342,202
1 社平均	10,182	10,692	10,731	11,570

メセナ活動の予算化 [P.3 図 10]

メセナ実施企業 392 社のうち、メセナ活動費を予算化していたのは 312 社(79.6%)。

メセナ活動の目的 (複数回答) [P.4 図 11]

メセナ実施企業 392 社のうち、メセナ活動の目的については、「社会貢献の一環として」が 347 社(88.5%)。「地域社会の芸術文化振興のため」が 230 社(58.7%)、「芸術文化全般の振興のため」が 207 社(52.8%)。

メセナ活動の担当部署 (複数回答)、担当スタッフ [P.4 図 12、13]

メセナ実施企業 392 社のうち、メセナ活動の担当部署で最も多いのは、「広報関連の部署」155 社(39.5%)。次いで「文化・社会貢献等の専任部署」が 71 社(18.1%)、「系列の財団」が 55 社(14.0%)。なお、「専任スタッフ」を置いている企業は 156 社(39.8%)。

メセナ活動の基本方針

メセナ活動の「基本方針」を策定している企業は、209 社(53.3%)。

メセナ活動の継続性 [P.4 図 14、15]

メセナ実施企業 392 社の活動総件数 2,560 件のうち、「新規」のメセナ活動は 740 件(28.9%)、「継続」は 1,820 件(71.1%)。なお、「継続」のうち、5 年以上継続のプログラムは 1,080 件(59.3%)、10 年以上継続は 705 件(38.7%)。

パートナーシップによるメセナ活動 (複数回答) [P.5 図 18]

メセナ実施企業 392 社のうち、芸術団体や他の企業などとのパートナーシップによるメセナを行った企業は 231 社(58.9%)。パートナーシップ: 名義のみの共催といった形式的なものではなく、企画や運営を共同で行うようなもの

メセナ活動の「評価」 (複数回答) [P.6 図 20、21、22] 今年度新規設問

メセナ実施企業 392 社のうち、メセナ活動について何らかの「評価」を行ったのは、280 社(71.4%)。評価を行っているのは、「担当部署」が 204 社(61.1%)、「担当役員や経営トップ」が 161 社(48.2%)。評価項目としては、「プログラムの社会的意義」が 208 社(74.3%)、「プログラムの妥当性」が 122 社(43.6%)。

「メセナ活動実態調査」とは

(社)企業メセナ協議会が、全国の上場企業や非上場売上高上位 300 社、協議会会員企業等を対象に 1991 年より毎年実施している、企業の芸術文化支援に関する調査。企業が実施するメセナ活動の事例を収集し、メセナ活動の実態ならびにメセナ活動に対する意識を調査することで、今後の企業メセナのあり方や展望を探る手がかりとする。本調査結果は、メセナ関係者・研究者・官公庁・地方自治体・海外の芸術文化機関等に広く活用されている。

「メセナ活動実態調査」では、下記のような**芸術文化支援活動**を対象としている。宣伝広告費、営業費、広報費などの経費で支出した活動も対象だが、販売促進を主目的とした場合は対象としない。また、スポーツ、学術研究、福祉、環境問題等への支援は対象としない。

芸術文化に関する公演・展覧会・シンポジウム等の開催	芸術文化に関する調査・研究および出版
芸術文化活動に関する資金、人的、物的、場所的支援	芸術文化施設の建設・運営
芸術文化に関する顕彰・養成・研修	その他、芸術文化支援と思われる活動

なお、調査の結果は、以下の媒体を中心に、一般に公表している。

- 『メセナマネジメント』： 2003 年 3 月、既刊の『メセナ白書』を全面リニューアルし、<メセナ白書シリーズ>として発行（企業メセナ協議会編、発行：ダイヤモンド社）
- データベース「メセナビ」： 全国の企業、民間財団、公的財団・団体のアートサポートに関する総合データベース【URL: <http://www.mecenavi.info/>】
- 『メセナレポート』： 企業メセナ協議会ニューズレター『メセナ note』増頁版。毎秋発行

2003 年度「メセナ活動実態調査」は、(社)企業メセナ協議会会員と協議会事務局で構成する調査部会が企画・実施した。

部会長	岡部修二	トヨタ自動車(株) 広報部 担当部長
メンバー	大井屋健治	(株)朝日新聞社 事業本部メセナ・スポーツ部 メセナ担当部長
	嶋田実名子	花王(株) 広報センター社会関連グループ 社会・文化室長
	大場智行	(株)損害保険ジャパン 社会・環境室 室長代理
	齊藤公治	日本電気(株) コーポレート・コミュニケーション部社会貢献部 メセナエキスパート
	中島康夫	(株)電通 電通ブランド・クリエイション・センター局次長兼ブランド・コミュニケーション室長
オブザーバー	太下義之	UFJ 総合研究所 芸術・文化政策センター 主任研究員 / センター長
協議会	出口正之(専務理事)、角山紘一(事務局長)、若林朋子、渡辺真知子、喜多爽	

メセナ [mecenat] とは

芸術文化支援を意味するフランス語。古代ローマ皇帝アウグストゥスに仕えた高官マエケナス (Maecenas) が詩人や芸術家を手厚く擁護したことから、後世、その名をとって「芸術文化を擁護、支援すること」を指すようになった。日本では 1990 年の企業メセナ協議会設立に際し、企業市民としての自覚にもとづき社会貢献の一環として企業が行う芸術文化支援を指す言葉として、テレビ番組等の協賛の意で使用されている「スポンサー」ではなく「メセナ」を採用したことから一般に知られるようになった。

社団法人 企業メセナ協議会とは

企業によるメセナ(芸術文化支援)活動の推進を目的とする民間企業の連合体として、1990 年 2 月に発足した公益法人。主たる事業として、企業の芸術文化支援についての、1.啓発・普及、2.情報集配、3.調査・研究、4.顕彰、5.国際交流、6.助成認定を行っている。会長: 福原義春。正会員 149 社、準会員 40 団体。(2003 年 6 月現在)

【本件に関するお問合せ先】

社団法人 企業メセナ協議会 広報担当: 渡辺 調査担当: 喜多

Tel: 03-3213-3397 Fax: 03-3215-6222 E-mail: mecenat@mecenat.or.jp

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-5-1 有楽町マリオン 13 階 URL: <http://www.mecenat.or.jp/>